

■ コーポレート・ガバナンスに対する基本的な考え方

大成建設グループのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、「経営の効率性ならびに透明性・健全性を高め、コーポレート・ガバナンス体制を充実させることで株主・顧客をはじめとした会社関係者の信頼を深めていく」ということです。そのため、グループ各社におけるコーポレート・ガバナンス体制のなお一層の整備を図り、グループ全般にわたる企業価値の向上を目指しています。

■ 内部統制

大成ロテックは、取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制、その他業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）に関して取締役会において決議し、適正で効率的な体制の実現を目指しています。その具体的な施策および整備状況は下記の通りです。

1

コンプライアンス体制

「大成ロテック企業行動規範」をはじめとするコンプライアンス体制に係る諸規程に加え、法令上疑義のある行為等について役職員等が直接情報提供を行う仕組みを定めた「内部通報規程」を整備しています。

2

情報管理体制

「社内用文書管理規程」等の文書・情報関連の社内規程を整備しています。

3

リスク管理体制

損失の危険の管理に関する規程である「リスクマネジメント基本規程」「リスク管理規程」「事業継続計画（BCP）」に加え、近年社会問題化している情報漏洩対策のため「情報セキュリティ管理規程」を整備しています。

4

企業集団における業務の適正を確保するための体制

大成ロテックおよび子会社からなる企業集団における業務の適正の確保のため、「大成ロテックグループ会社運営要綱」を整備しています。